

11・23幌延デー

幌延

へ結集



ダッシュ！！

編集・発行
日高地方本部
青年部
1月6日
(火曜日)

宇部

反核・反戦のシュプレヒコール

十一月二十三日の日曜日に「北海道への核の持ち込みは許さない！11・23幌延デー北海道集会」が開催され参加者は寒空の下スタート地点である東ヶ丘スキー場から幌延町内をシュプレヒコールをあげながらデモ行進を行った。

この集会は一九八六年から開催され、今回で二十九回目を迎える、日高地本からは実行委員の瀧口和成氏（日高町職）をはじめ七名が参加し近年では例を見ない大所帯となった、北海道青年女性部では三産別一団体百五十三人が参加。

現在放射性廃棄物の最終処分方法として深地層処分が検討されているが、その調査研究機関が幌延にある深地層研究センターである。この研究所を巡っては、北海道は「放射性廃棄物の持ち込みは受け入れ難い」との条例を制定し、道及び幌延町、原子力機構（旧核燃機構）は「研究のみ」として「放射性廃棄物や放射性物質を持ち込まないし使用しない」「研究終了後は埋め戻す」との協約を締結している。しかし政府は、高レベル放射性廃棄物の最終処分について「国が全面に出る」として、候補選定

地に向けた文献調査を適地に申し入れようとしており、北海道は「協定」があっても例外ではないとのこと。また日本原子力研究開発機構の理事は「二十年程度」として研究期間について「現時点で何年に終了とは言えない」、「回収可能性の研究も」「三者協定」の範囲内である、「埋めるともつたいたない」などと、三者協定を反故にするかのような発言を繰り返しており、地元幌延町においても交付金目当ての最終処分場誘致の動きもあり、幌延町がなし崩しの処分地とされることが危惧されている。



↑ 決意表明をする齊藤道本青年部長(中央)

デモ行進に先立って二十三日の午前中には天塩町社会福祉会館において11・23幌延デー北海道青年女性学習会が開催された。冒頭では瀧口実行委員長から「安倍政権の原発政策、私たちの住んでいる環境が戦争に向かっている。

国民からは圧倒的に反対の声が出ているが、それでも進んでいる。しかし、反対運動のおかげで核のゴミが持ち込まれていない現状もある。そのためにも、学習と行動で意思を示していこう。」との挨拶があり、その後「核のゴミと核燃料サイクルのゆくえ」と題して北海道立札幌琴似工業高等学校教諭の川原茂雄氏の講演が行われた。

今までに発生した使用済み核燃料が原子炉建屋内プールに一時的に保管されているがその先の行き場所がなく、使用済み核燃料をウランに例えて原発はトイレなきマンションだと、おまるにいられて棚の上に置いてあるだけなどと流暢な喋り口で語り参加者は聞き込んでいた。



↑講演を行う川原茂雄氏

参加者感想なのです

○野阪 亮太 氏（えりも町職労）

デモ行進というものに参加するのは初めてで、警察もいるし、正直怖かったです。歩きながら幌延のまちを見ていると、周りに人が全くいませんでした。みんなデモ行進に参加していたからなのか、三連休のど真ん中なので出かけていたからなのか、理由はわかりませんが、もともと幌延は低レベル放射性廃棄物の誘致を考えていたみたいですが、それを考えると、この集会を幌延の人たちはどう思っているのかが少し気になりました。

地本幹事出揃う

○本田 卓也 氏（平取町職労）
幌延デーそのものには過去三回参加しているが、今年は幌延デー前日の十一月二十二日、「ゆめ地創館」を初めて見学した。施設の中にはたくさんパネルがあり、核燃料サイクルとは、高レベル放射性廃棄物とは、地層処分とは、などの色々な説明があった。そのなかでも目を引いたのは「当センターの施設は研究施設です。放射性廃棄物は持ち込みません」とデカデカと書いてあったことだ。うそくせえ（笑）。

十二月十八日（木）に新ひだか町において日高地本青年部第一回幹事会が開催され、二〇一五年年度の幹事会体制が確認されました。（敬称略）部長・茂野良二（日高）、副部长・堀井勇司（様似）、書記長・野阪亮太（えりも）、宇部孝也（日高）、錦野雄太（平取）、小林元希（新冠）、榊原征人（新ひだか）、東亮佑（同）、若林寛之（浦河）、出町拓大（様似）、澤田隼行（えりも）、杉山展明（全道庁日高総支部）。

あつがき

二〇一五年の十二支は未（ひつじ）ですが、干支は乙羊（きのとひつじ）です。甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸の十干（じつかん）と子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥の十二支を組み合わせた六〇通りが干支であり読み方も本来は「えと」ではなく「かんし」と読みます。兄（え）の干と弟（と）の支の兄弟（えと）が由来となり「えと」と呼ばれるようになりました。甲子の年にできたので甲子園、戊辰の年におきたので戊辰戦争など意外と身近に干支はあるものです。ちなみ前の乙羊は一九五五年でこの年はあのミスターヨーロッパ・欧州年間最優秀選手二回・ドイツ年間最優秀選手一回・ブンデスリーグ得点王三回・スイスリーグ得点王一回で有名なカール・ハイント・ルンメニゲが生まれた年です。